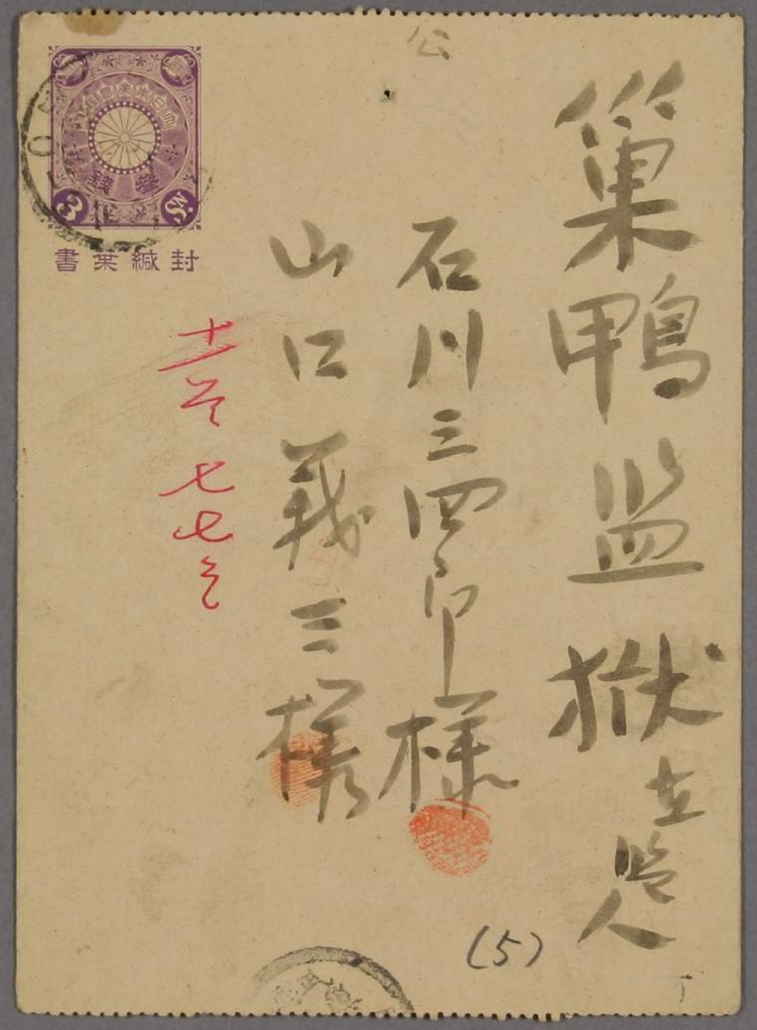
巢鴨監獄
石川三四郎様
山口義三様
封緘葉書
(5)

去十七日夜金曜講演解散を命ぜられた
るは、多少の混雑あり、元に大杉、出、森岡、坂
本、黒岩（遊）、僕の六人として来る筈なりしに
案内書及び手紙、大阪では去年以来禁止
ライキの時、ふれたりしたり事、近
二月が今控訴の公判、弁護士の弁
と自宅にとうとうとらる。
の後、うちあけ、尾加二名目の動かりつた、電
車賃は皆前の七日六時院の判決がきた、
兵庫の方は二月八日控訴判決の筈、そこは無
罪ではあらうが、免れかくの騒ぎなかつた、沼
尾等はマダ中々永いそう、宮崎の方
でも、石川君等しこんだ、でしつかり
不同なと宣下して出ると思ふ、僕が出中
美人に出て出つて法廷たい、山口君徒刑は上い
か、書物等の方未だ果さず何とも相済まぬ、
コンナモノで今年前半は多分メダメだが、後半には始終
つて面白くやりたいものだ、三時の汽車にはもう
かの内の方はスイブンごろごろしてゐるらしい　一月廿八日

東京監獄

堺利彦

449

刊
204
88